

# スリーマイル島原発事故27年 重大事故を起こす前に原発の耐震性を見直して下さい

若狭連帯行動ネットワーク

地震国日本で、原子力発電所を運転することは、無謀であることがますます明らかとなってきています。現在の原発の耐震設計は全く不十分であることが、3月24日の北陸電力志賀原発2号運転差し止め裁判の判決で一層明らかとなりました。この判決では、耐震設計は、直下地震の想定が小規模すぎ、考慮すべき邑知潟断層帯による地震を考慮していないとして、「志賀原発2号を運転してはならない」と結論づけました。

私たちは、阪神淡路大震災以降、貴社に対して、若狭の原発周辺の活断層を小さく見積もり、直下地震の想定が過小評価になっていると指摘してきました。また、美浜原発周辺の活断層においても、地震防災対策特別措置法に基づいて設置され文部科学大臣を本部長とする地震調査研究推進本部は、活断層の長期評価を最近とりまとめ、野坂断層帯を考慮して防災対策をするよう勧告しています。しかし、いまだに貴社は、この野坂断層帯を考慮すらしていません。少なくとも美浜原発の運転を止めて、再調査・再評価すべきではないでしょうか。

一昨年8月16日に宮城県沖で起きた地震により、女川原発の耐震設計の想定を上回る揺れが観測され、原発が緊急停止しました。野坂断層帯でマグニチュード7.3の地震が起これば、美浜原発は破壊され、大量の放射能流出事故という重大事故が起こることが現実味をおびてきています。

美浜3号で11名の死傷者をだした大事故以降、貴社は、「原発の安全性を最優先する」と言っていたではありませんか。口先だけでなく、即刻、原発の耐震設計を見直すべきです。さらに、運転を初めてから30年以上経過している美浜原発1・2号では、いろいろな箇所が老劣化しており、地震の揺れにさらに脆くなっているはずです。これらを真剣に考慮するならば、一日も早く原発を止めていかなばならないと気づくはずですよ。

経産省は、28日 美浜3号炉について事実上「運転再開」を認めましたが、いまだ貴社の品質保証システムは確立できてはいません。最近も貴社は、配管の「刻印書き換え」事件、大飯原発の防火シート発火事故などを起こしています。また、耐震設計もやり直すべきです。運転再開などもってのほかですよ。

今年、アメリカのスリーマイル島原発重大事故から27年になります。

貴社に対して以下の点を要求します。真摯に検討され速やかに実行に移されるよう切に望みます。

原発の耐震設計時に活断層を過小評価していたことを認め、運転開始から30年以上経過した美浜1号・2号および事故を起こした美浜3号を閉鎖すること。大飯、高浜原発でも即刻停止し、耐震性を見直すこと。

プルサーマル計画を中止し、撤回すること。1月6日に公表した「六ヶ所再処理工場で回収されるプルトニウムの利用計画」を撤回すること。

使用済核燃料を六ヶ所再処理工場に搬出するのをやめ、日本原燃にアクティブ試験を行わず六ヶ所再処理工場を閉鎖するよう求めること。

久美浜原発建設計画の撤回に続き、敦賀3・4号増設計画中止を日本原電に勧告すること。

日本原電に派遣している貴社の社員を引き上げること。志賀原発からの買電をやめること。

使用済み核燃料の中間貯蔵施設計画をやめること。

長期連続運転、昼夜突貫の工事、定検項目の削減などによる定期検査の短縮等を中止すること。オンラインメンテナンス化による定期検査の削減や定期点検間隔の18~24ヶ月化を断念すること。